

§ 1 コミッショナー研修所について

中澤 覚

第1日 11時00分～12時00分(60分間)

目 標

参加者は、このセッション終了時に次のことが達成できる。

1. コミッショナー研修所の目的と目標を理解する。
2. コミッショナー研修所における各セッションの関連について理解する。
3. コミッショナー研修所の進め方を理解する。

指導上のねらい

1. コミッショナー研修所の目的と目標を確認し、参加意識を高める。
2. コミッショナー研修所における各セッションの関連について理解させる。
3. コミッショナー研修所の進め方を理解させ、不安を取り除くとともに参加意識を高め、研修期間を通しての積極的な参加を促す。
4. 学習環境と活用できるリソースを知らせる。

スタッフの仕事(依頼事項)

グループタイムの活用により、チームビルドを図る

準備品(資材・資料)

- ・ハンドアウト「コミッショナー研修所の目的と目標」
- ・オリエンテーションノート
- ・振り返り用紙

セッション運営要項作成にあたって

1. セッションの概要と展望
 - ・当コースの進め方の基本となるセッションであるため、所長が担当し、所員全員が参加する。
 - ・大半の参加者がコース参加に緊張を持っており、コースの内容と展開に不安を持っているので、その緊張と不安が安らぐように講義の進め方や内容について工夫する。
 - ・当コースの理解が修了後もその確認を容易にするために教育規程の該当項目、「コミッショナーハンドブック」の記載部分を紹介しながらセッションを進めることに努め
 - (1) 歓迎のことば
 - (2) スタッフ紹介
2. 訓練目標を達成するために伝えること・実施すること
 - (1) 目的と目標
 - ・本コースの目的及び目標について説明する。
 - ・本コースのセッションの概要及び関連性について説明する。
 - ・グループの編成、チューターの配置など、本コースの運営方法について説明する。
 - ・目標達成のためには、参加者の積極的な取り組み姿勢が必要であることを説明する。
 - (2) オリエンテーション
 - ・グループごとにチューターにより、オリエンテーションを行う。
 - ・オリエンテーションとして伝えなければならないことは、予めノートを作成して、簡潔に説明する。
3. セッションのまとめと確認事項

まとめは行わない。

《 グループタイム 》 12時00分～13時00分

 - ・セッション終了後、グループタイムに移行する。
 - ・昼食を配布し、昼食を食べながらグループタイムを進める。

(グループタイムのねらい)

 - ・グループ内の仲間を知り、チームビルドの向上を図る。
 - ・事前に提出している課題や研修ニーズを各自で再確認する。また、参加者の研修ニーズが本コースの目的・目標に合わず、本コースの中で満足させられない場合がある事を知らせる。
 - ・グループ内の他の参加者の課題・研修ニーズを知る。

セッションの進め方

1. 導入 (講義) (25分)

- (1) 歓迎の言葉
- (2) 自己紹介
- (3) 所員、スタッフ紹介

2. 展開 (講義) (30分)

(1) コミッショナー研修所の目的と目標 (10分)

ハンドアウト1-1 参照

①目的

コミッショナー研修所は、隊指導者上級訓練課程修了者で、各種コミッショナー、その候補者、または都道府県連盟役員及びその候補者を対象として開設し、参加者が本連盟の方針とその規程に従い、コミッショナーの任務を理解し、その役務を遂行する能力を身につけることを目的とする。

②目標

- I. 組織と各種コミッショナーの位置付けを理解する。
- II. 各種コミッショナーの任務を理解する。
- III. 日常業務の進め方と組織との連携を理解する。
- IV. 任務を果たす上で必要な知識、技能、態度を身につけるための自己研修ができる。
- V. コミッショナー研修所の運営方法等を理解する。

(2) コミッショナー研修所のセッション内容と日程について (15分)

日程表 参照

① (日程の説明)

※コースの目的、目標をカリキュラムとして組み立てると、日程表の様な構成となる。

②セッション概要の説明

1) セッションの流れと学習形態

【セッションの流れ】

i スカウト運動の基本

本研修所においては、セッションとして取り扱わないが、十分に理解されていることが前提となっている。

ii コミッショナーに必要なものに特化している。

【知識】

- ・ スカウト運動の組織について
- ・ 各種コミッショナーの業務について
- ・ 標準的なスカウト活動の展開について

【技能】

- ・ 問題解決に対するスキルの習得

【心構え・態度】

- ・ コミッショナーのあるべき姿

【学習形態】

i. 成人の参加型学習

- ・ 受け身ではなく、積極的な学習を。
- ・ 自分で学んだことは忘れないし、自分のものとなる。
- ・ コミュニケーション型の学習

脳 過去 本番
 演習 2秒
 内容 30秒
 人間 30分 → 記憶に

ii ノートの活用について

学習の流れは、通常「知る→整理する→覚える」の3段階になる。

「知る」はテキストや資料書などを見ること、「整理する」は知ったことを理解し整理すること、「覚える」は整理したことを覚えることである。

“ソートをとる”とは、情報を整理する作業となる。したがって、ノートをとることで、知識を自分なりに整理し覚えやすい状態にすることができる。

(3) コース運営について

①グループワークを活用した学習

②チューターの役割と活用について

グループ学習や自己学習を支援するために各グループにチューターをおく。

③ふりかえりの時間について

直訳(家庭教師)

【チューター担当所員へのお願い】

- ・チューターは参加者やグループの学習を支援し、これを効果的に進める。
- ・チューターの参加者やグループへの働きかけについては、「上級指導者訓練」に於けるチューターの役割と同様とする。
- ・チューターは各グループの運営及びグループ作業、研究協議がハイレベルで円滑に進められるよう、援助、指導する。

(4) 生活面(舎営)について

舎営による研修であるが、規律と秩序は生活の基本となることは言うまでも無い。

(5) 自主的な運営について

コミッショナーの研修であり、参加者はコミッショナーとしての役務を担う者ある。したがって、コースは参加者の自主的な運営を主体とする。

(5) 健康管理と安全管理について

2泊3日の短期間ではあるが、関係者全員が個々の健康管理と安全管理に留意する。

3. まとめ

本セッションでは「まとめ」をおこなわない。

4. 生活面の諸注意 [QM]

オリエンテーションノートを用いての生活上のきまりの説明

5. 振り返り (5分)

セッション修了後、グループタイムに移行する。

グループタイムはチューターを中心に、昼食を摂りながら進める。

※グループタイムのねらい

- ・グループ構成メンバーを知り、チームビルドを図る。
- ・課題研究や訓練ニーズを各自で再確認する。また、参加者の訓練ニーズが本コースの目的や目標と合わない場合があることを知らせる。
- ・グループ内に於ける他の参加者の課題や訓練ニーズを知る。



コミッショナー研修所の目的と目標



1. 目的

コミッショナー研修所は、隊指導者上級訓練課程修了したコミッショナーまたはその候補者を対象に開設し、参加者がコミッショナーとしての任務の理解、業務の推進を通じてスカウト運動の発展に寄与できるよう訓練することを目的とする。

2. コースの目標

- (1) 組織と各種コミッショナーの位置付けを理解する。
- (2) 各種コミッショナーの任務を理解する。
- (3) 日常業務の進め方と組織との連携を理解する。
- (4) 任務を果たす上で必要な知識、技能、態度を身につけるための自己研修ができる。
- (5) コミッショナー研修所の運営方法等を理解する。

*各種コミッショナー：団担当コミッショナー
 地区（副）コミッショナー
 県連盟（副）コミッショナー





コミッショナー研修所の目的と目標



1. 目的

コミッショナー研修所は、隊指導者上級訓練課程修了したコミッショナーまたはその候補者を対象に開設し、参加者がコミッショナーとしての任務の理解、業務の推進を通じてスカウト運動の発展に寄与できるよう訓練することを目的とする。

2. コースの目標

- (1) 組織と各種コミッショナーの位置付けを理解する。
- (2) 各種コミッショナーの任務を理解する。
- (3) 日常業務の進め方と組織との連携を理解する。
- (4) 任務を果たす上で必要な知識、技能、態度を身につけるための自己研修ができる。
- (5) コミッショナー研修所の運営方法等を理解する。

*各種コミッショナー：団担当コミッショナー
 地区（副）コミッショナー
 県連盟（副）コミッショナー

